

校長室から 1. 「心やさしき社会のリーダー」の育成

今春、校長として着任した小島淳子です。平成 27・28 年度の2年間、副校長として勤務していたこの光陵高校に、再び携わることができることを心からうれしく思います。光陵高校は、開校以来 50 数年にわたり、多くの卒業生を社会に送り出してきました。その卒業生たちは、社会の第一線に立ち、様々な分野で活躍をしています。その歴史と伝統を受け継ぎつつ、未来を担う「心やさしき社会のリーダー」を育てていきたいと考えています。

社会は、人口減少を伴う少子高齢化、グローバル化、情報技術の進化などによって急速に変化をしています。多くの場面で、私たちの知らない間に人工知能が社会インフラとなり、人は、人工知能が組み込まれたシステムやロボットなどといかに共存していくかが問われるようになるかもしれません。未来を予測することが、極めて困難なこのような時代にあって、本校は、次代を担う「心やさしき社会のリーダー」を育むことが大変重要であると考えています。人が人として豊かで幸せな人生を、生涯にわたって生きがいを持っておくことができるために、生徒一人ひとりが、自分で考え、自律的に行動できることが、今まで以上に重要なことだと思うからです。また、どんな時代にあっても、人は、人と人との関わりの中でこそ、成長していくことができ、心豊かに、満たされることのできるのだと思います。そのために、毎日の授業はもちろん、学校行事や、生徒会活動、部活動など様々な教育活動をとおして、次の3つの力を育てていきたいと考えています。

1. 高い目標を掲げ、自らそれを実現していく力
2. 豊かな感性を備え、他者と協働しながら対処していく力
3. 豊かな教養を備え、社会に貢献していく力

人生 100 年と言われる時代、人生は学びの連続であるとも言えるでしょう。高校時代は、生涯にわたって様々なことを、学び続けるための基礎を養うときでもあります。ともに学ぶ仲間との友情を深め、多くのことを体験し、自分の世界を広げていってほしいと思います。そして、光陵高校を卒業するときに、「ああ、いい高校生活だった！」と思って、次のステージに向かってほしいと願っています。